

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	面会時やケアプラン作成時などで適時近況報告を行っている。それ以外では事故、急変時、体調不良などの場合に家族へ連絡する傾向が多い。入居している家族は悪い報告を折々に受けるのではなく、良い経過や、良い表情を折々に報告として受け取りたいはず。あるいは悪い報告ばかりでは、緊急時や重大な事例を報告する際に印象が悪くなってしまうことに繋がりがかねない。日常的に良い報告を意識して家族に生活状況を報告していくことが、本人・家族との良好な関係の維持・構築に重要な要素となる。	<ul style="list-style-type: none"> 生活状況において入居者本人の活動的な様子や残っている能力が引き出されている様子などストレス視点を意識した報告を行える。 面会時やケアプラン更新時に限らず、意図的に家族と連絡を取り合い、近況報告ができるタイミングを増やす。 管理者や各ユニットリーダー以外の職員も上記報告が行える。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員は入居者本人の強みを意識した日常の様子を観察し、面会時や電話相談の際に家族へ良い報告を意識して伝えていく。 現状の里の家のお便りは評判が良い。例えば、本人用のA4を別刷りして挟んだり、最後のページの顔写真を増やすなど、お便りの中で取り組める・出来る工夫を考えていく。 	1年間
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。